

近年問題のヒメクグや 一年生広葉雑草を退治



芝生用 / 除草剤

バサグランターフ[®]

※BASF社の登録商標

 **BASF**

We create chemistry

バサグランターフ®

光合成を阻害し、SU低感受性ヒメクグにも有効
取りこぼした一年生広葉雑草を防除

ヒメクグへの効果

●生育期のヒメクグに高い効果を発揮します。

ヒメクグ	バサグランターフ(1ml/m ²)	A剤(0.04g/m ²)	B剤(0.4ml/m ²)	無処理
散布前				
散布14日後				

バサグランターフの薬量別効果

●効果安定のために、薬量は1ml/m²を推奨します。

◎:極大 ○:大 △:中 ×:小~効果なし

科名	草種	0.5ml/m ²	0.75ml/m ²	1ml/m ²	科名	草種	0.5ml/m ²	0.75ml/m ²	1ml/m ²
キク科	アレチノギク	◎	◎	◎	マメ科	ヤハズソウ	△	△	△
	ヒメムカシヨモギ	◎	◎	◎	ゴマノハグサ科	トキワハゼ	◎	◎	◎
	オオアレチノギク	◎	◎	◎	タデ科	イヌタデ	◎	◎	◎
	ウラボチコグサ	○~△	◎	◎	ナデシコ科	ツメクサ	◎	◎	◎
	ヒメジョオン	◎	◎	◎	クワ科	クワクサ	◎	◎	◎
	トキンソウ	○~△	○~△	○	キツネノマゴ科	キツネノマゴ	◎~○	◎~○	◎~○
	セイタカアワダチソウ	◎	◎	◎	セリ科	チドメグサ	△	○	○
トウダイグサ科	コニシキソウ	○	◎	◎		ノチドメ	△	○	○
カヤツリグサ科	ヒメクグ	○	◎~○	◎	イネ科	イネ科雑草	×	×	×

生育期の一年生広葉雑草およびヒメクグに対し優れた茎葉処理活性

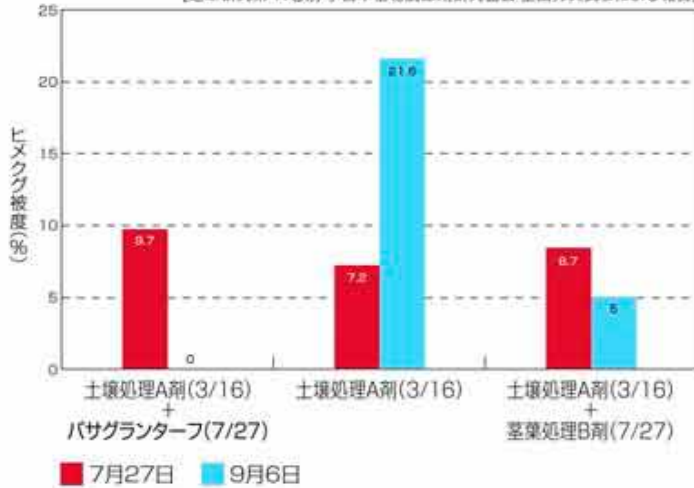
SU低感受性のヒメクグに対しても優れた効果

光合成阻害剤

SU*系除草剤低感受性ヒメクグに対する効果

*スルホニルウレア

[芝草研究第41巻別号 日本植物調節剤研究協会 土田邦夫氏らによる報告]

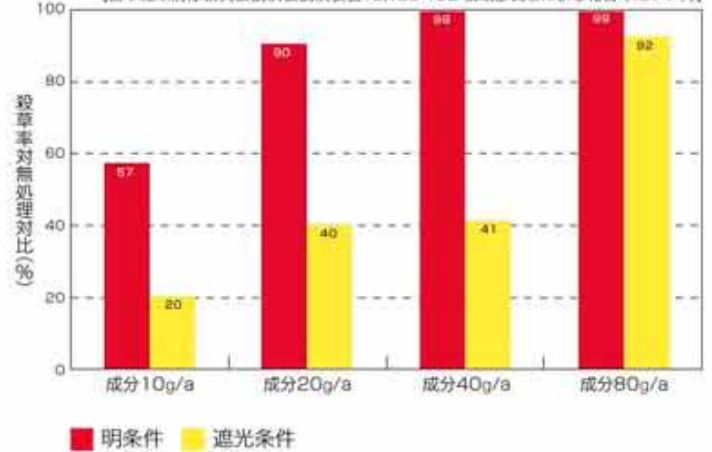


試験年: 2011年
 試験場所: 静岡県Aゴルフ場
 供試雑草: スルホニルウレア系除草剤抵抗性ヒメクグ(生育期)
 薬剤処理: 3月16日(土壌処理A剤)、7月27日(バサグランターフ、茎葉処理B剤)
 調査日: 7月27日、9月6日

有効な土壌処理剤とバサグランターフの体系処理はヒメクグ防除に極めて有効です。

効果的な晴天時の散布

[日本雑草防除研究会講演会講演要旨13,130-132 嶋田彦氏らによる報告(1974年)]

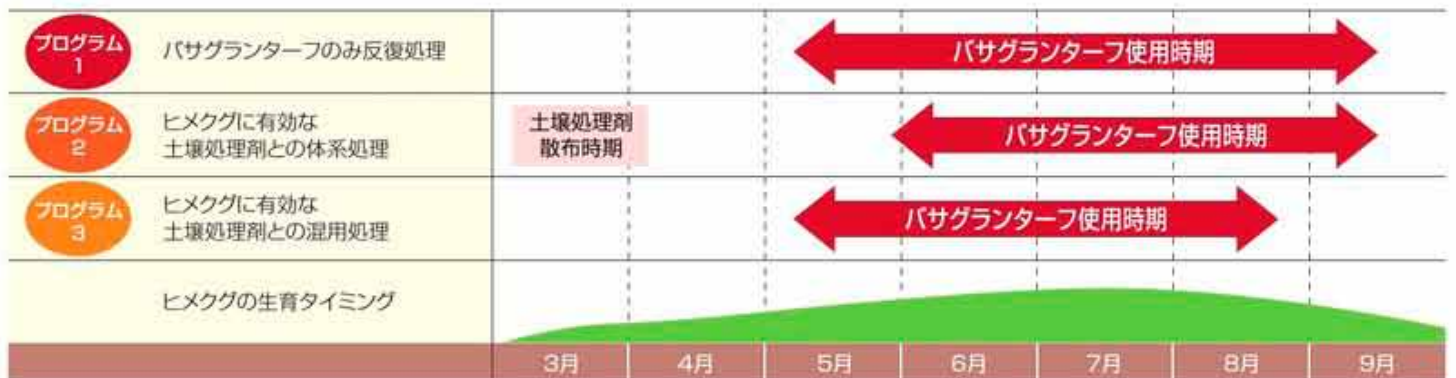


供試雑草: ウリカフ(7~8葉期)
 ※遮光区の照度は明区の1/4~1/6

曇天時よりも晴天時での散布がポイント*です。

*バサグランは雑草の蒸散作用が活発な状態でより速く、かつ大量に吸収されるため。

ヒメクグ防除のための散布プログラム例



※上記のうち適切なタイミングを3回選択し散布する ※高温条件下の散布には注意してください。

散布に関する注意

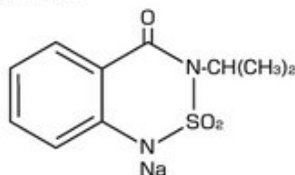
- 一過性の薬害が生じる可能性があります、処理後2週間ほどで回復します。
- 薬量、散布回数を守り、重複散布には注意してください。

[2013年、圃場試験]

処理日	薬量(mL/m ²)	コウライシバへの影響(-:なし +:あり ++:著しい)				症状
		処理3日後	処理8日後	処理15日後	処理27日後	
7月16日	1 (登録最高薬量)	+	+	-	-	葉先枯れ
	2 (登録最高薬量×2)	++	++	+	-	葉枯れ

成分・性状・物理化学的性質・規格

農林水産省登録：第23400号
 種類：ペンタゾン液剤
 成分：ペンタゾン(ナトリウム塩)…44.0%
 化学名：3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジ
 キシド=ナトリウム塩
 性状：赤色澄明水溶性液体
 規格：1L×12本
 構造式



人畜・環境への高い安全性

人畜毒性(製剤)：普通物(毒劇物に該当しないものをさすという通称)

LD ₅₀ (ラット、経口)	1000mg/kg以上
LD ₅₀ (ラット、経皮)	4000mg/kg以上

魚毒性(製剤)

コイ	LC ₅₀	110mg/L以上(96時間)
オオミジンコ	EC ₅₀	100mg/L以上(48時間)
緑藻	ErC ₅₀	100mg/L以上(72時間)

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用回数	使用方法	ペンタゾンを含む 農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
日本芝	一年生雑草(イネ科を除く) ヒメクグ	春夏期雑草生育期 (芝生育期)	0.5~1 mL/m ²	100~200 mL/m ²	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し使いきってください。
- 本剤の所定量を所要量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 高温条件下では薬害を生ずることがあるので注意してください。
- ゴルフ場の使用においてはグリーンでは使用しないでください。
- 散布後、曇天、降雨日が長く続くと効果が劣ることがあるので、晴天時を見はからって散布してください。
- 散布薬液の飛散あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生ずることのないよう十分注意して散布してください。
- 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、容器、空袋等は圃場に放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意をしてください。

- ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届くところに置かないでください。
- 空ビンには3回以上水洗いし、圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ●洗浄水はタンクに入れてください。

BASFジャパン株式会社

〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー21階
 ☎0120-014-660 FAX 03-3796-9419
<http://www.agriculture.japan.basf.com>

2015.12/3(ZN)8005-01 Ver.3